

施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030205-10-00
基本事業：	04	幼保サービスの充実	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	待機児童数（保育所） 待機児童数（放課後児童クラブ） 保育サービスの満足度		担当課	子育て支援課
			担当係	保育担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
私立保育所に入所の障害を持つ児童に対して加配保育士を配置した保育所に、加配保育士の人件費の一部を補助するもの。		私立保育所において、障害を持つ児童を受け入れ障害児保育を推進する。（担当保育士の配置） 筑紫野市障害児保育事業費補助金交付要綱第2条に規定する児童の場合 7200円×21日×在籍月数を補助 軽度障害児（軽度の発達障害等） 7200円×21日×在籍月数×1/2を補助 保育士の配置は、児童の状況にあわせて、1：1、2：1で行う。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
障害児保育事業の推進を図る。保育サービスの充実を図る。						

4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標	
		実績	実績	当初	要求	計画	計画		
配置した保育士数	人	5	5	10	10				
通所することができる障害児数	人	5	5	10	10				

5. コスト									
事業費	計	千円	8,085	7,812	18,144	18,144			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	一般	千円	8,085	7,812	18,144	18,144			
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0.2				
正職員人件費		千円	1,599	1,618	1,613				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	9,684	9,430	19,757	18,144			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	加配保育士を必要とする障がいのある児童の入所を受け入れ、障がい児保育の推進に寄与しています。保育士不足の影響で、障がいのある児童の受け入れが困難な状況が続いています。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	大きい								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善方向性					維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
障害を持つ就学前児童は、小郡市のこぐま学園など療育施設等に通所している場合もあるが、保育時間が短時間で、保護者にも肉体的精神的負担が多いのが現状である。また居住地近くの保育所への入所希望が増えてきている。					備考・特記事項 or 進行管理欄				
補助の基準としている市臨時保育士の賃金改定にあわせ、平成30年度から補助単価の見直しを行った。 7,200円×21日×在籍月数（×1/2）									